

「一果入魂」こだわりを持った生産管理に努めよう

## 1. ミカンバエ防除を徹底しよう

**防除期間** 8月15日～8月31日

**散布量** 500ℓ以上/10a当り

- ◎ 散布ムラのないよう、丁寧に果実全面にかかるようにしましょう。
- ◎ ミカンバエ防除にあわせて黒点病、アカダニ、サビダニの防除も行いましょう。

病害虫	薬剤名	備考
ミカンバエ	モスピランSL液剤 2,000倍	収穫前14日前まで(モスピランの総使用回数3回以内)
黒点病	ジマンダイセン水和剤 400～600倍 ※中晩柑は600倍で使用	極早生、早生みかんにはIMダィアは使用しないで下さい (温州みかん:収穫前60日のため)
アカダニ サビダニ	ダニゲッターフロアブル 2,000倍	アカダニ・サビダニの両方に効果があります。

## 2. 摘果作業は進んでいますか？

着果過多樹は、仕上げ摘果で内なり・裾なり・傷果・軸太果・油胞の大きい果実・小玉果（2S以下）を摘果しましょう。（下向き果実を残すように）

着果状況に合わせ、摘果時期・摘果方法を考えましょう。

(平年値) (単位: mm)

品 種	8月20日	品 種	8月20日
早生温州 (2S カット)	39ℓ以下	せとみ (M カット)	47ℓ以下
普通温州 (2S カット)	32ℓ以下	デコポン (M カット)	46ℓ以下
高糖系温州 (2S カット)	29ℓ以下	太田ポンカン (S カット)	29ℓ以下

## 3. タイベックマルチ被覆園の管理

被覆時期…8月上・中旬(普通温州、高糖系)・・・水田転換園では早急に被覆  
※ 乾燥が続いている場合、降雨後又は灌水を行い被覆して下さい。

灌水時期…日中に葉が巻き始めたら株元に50リットル程度灌注器で灌水

## 4. フィガロンによる熟期促進（2回目）

・・・・・・早期出荷に向けた着色促進対策

品種	時期	薬剤名
極早生、早生(2回目)	8月上旬 (1回目から2週間～20日後)	フィガロン乳剤 3,000倍
中生、普通みかん 高糖系(2回目)	8月中旬 (1回目から2週間～20日後)	フィガロン乳剤 3,000倍

※着色促進・増糖目的に積極的な活用をし、品質向上に努めましょう。

## 5. 夏季剪定園の管理

散布時期	対象病害虫	薬剤名	
1回目…発芽直後	エカキムシ	エクシレル SE	5,000倍
2回目 …1回目から10日後	エカキムシ	エクシレル SE	5,000倍

※生産樹・未結果樹別で使用回数以内に抑えましょう。(エクシレル SE：年間使用回数3回以内)

※緑化促進のため尿素500倍を加用しましょう。

### 落葉果樹

	散布時期	対象病害虫	防除薬剤
西条柿	8月上中旬	カキノヘタムシガ	バダンSG水溶剤 1,500倍
		うどんこ病、炭疽病	トップジンM水和剤1,000倍 または ストロビードライフロアブル3,000倍
	8月下旬	カメムシ	テルスターフロアブル 1,000倍

### 野菜

8月中下旬に播種する野菜 白菜、ニンジン、大根、ホウレンソウ

#### 秋播き野菜の定植準備

播種又は定植の2週間前までに、1㎡当たり堆肥を2～3kg、苦土石灰を100g施用して耕耘し、1週間後に元肥として「くみあい有機入り化成苦土A801号」を200g施用して再度耕耘しましょう。

ただし、馬鈴薯への苦土石灰の施用はそうか病の発生原因となるので避けましょう。

### 水稻

—今年の出穂予定日— (平年の気温の場合)

田植日	コシヒカリ	ひとめぼれ	きぬむすめ	ヒノヒカリ
5/8	7/28	—	—	—
5/22	—	8/5	—	—
5/29	—	8/8	8/15	—
6/12	—	—	8/20	8/24
6/19	—	—	—	8/27

#### ●カメムシ、いもち病の防除

重点防除	時期	粉剤	液剤	粒剤
《1回目》 カメムシ	穂揃期 (出穂後3～5日)	ノブアラバダゾール-カ粉剤 5DL 3～4 kg/10a	スタークル液剤 10 1,000倍 150 ㍓/10a	ガッツスター粒剤 粒剤 3 kg/10a
《2回目》 カメムシ	1回目から 1週間後	ビームスタークル粉剤 5 DL 3 kg/10a	スタークル液剤 10 1,000倍 150 ㍓/10a	(出穂5前散布)

#### ●ウンカの防除 (ひとめぼれ、きぬむすめ、ヒノヒカリ)

時期	薬剤名
8月上旬 と 9月中旬	ノブアラバダゾール-カ粉剤5DL、スタークル粒剤 3kg アプロードフロアブル 1,000倍、スタークルメイト液剤 10 1,000倍

}いずれかを散布